

| | |
|-----|---|
| 件名 | 第60回 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム 開催結果概要 |
| テーマ | かながわの森と水～これまでの20年から次のステージへ～ |
| 日時 | 令和8年2月7日(土) 13:00～16:00 (展示会場のみ 12:30～16:30) |
| 会場 | 新都市ホール(横浜市西区高島2-18-1 横浜新都市ビル(そごう横浜店)9階) |
| 内容 | <p>1 開催趣旨 これまでの水源環境保全・再生に係る取組・成果についての情報提供・発信等を行うとともに、令和9年度以降、県が新たに取り組む水源施策について、県民へ広く周知することを目的に開催する。</p> <p>2 開催内容(講演会)</p> <p>〔1〕開会挨拶(5分) 橋本 和也(神奈川県副知事)</p> <p>〔2〕基調講演(70分) 野口 健(登山家) 講演テーマ『富士山から日本を変える～山から学んだ環境問題～』</p> <p>〔3〕「かながわ水源環境保全・再生基本計画」等の紹介(20分)</p> <p>〔4〕パネルディスカッション(70分) テーマ「かながわの森と水～これまでの20年から次のステージへ～」 <パネリスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・齊藤 理沙(株式会社つくい森林設計HALU 代表取締役) ・谷 芳生(秦野市環境共生課 専任参事(兼)課長) ・市田 智之(サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部 天然水の森グループ スペシャリスト) ・吉村 千洋(東京科学大学 環境・社会理工学院 教授) <p><コーディネーター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土屋 俊幸氏(東京農工大学 名誉教授) <p>〔その他〕会場では次の展示等を実施。 <展示スペース></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水源環境保全・再生施策等の紹介 2. 市民事業支援補助団体ブース【NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク、NPO 法人 湯河原森のなかま】 3. 市町村ブース【小田原市農政課、相模原市森林政策課、秦野市森林ふれあい課、秦野市環境共生課】 4. 間伐材製品の展示【株式会社ラ・ルース、一般社団法人 さがみ湖森・モノづくり研究所】 5. 丹沢の森に棲む動物の剥製展示 6. 水源かん養実験の動画放映 7. 森林再生パートナー企業等の活動紹介 8. 「全日本中学生水の作文コンクール」入賞作品の展示 |

| | |
|------|--|
| | <p>9. 自然公園指導員のパネル 10. 「もう一つの震災復興」パネル <体験スペース> 1. ひのき玉プール【株式会社ラ・ルース】 2. 愛川和紙細工教室【芳雅美術工芸】 3. 利き水体験</p> <p>3 参加者数 対面：152名/オンライン：33名</p> <p>4 開催効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演では、水源環境を守る重要性などについて参加者へ訴えることができた。 ・「かながわ水源環境保全・再生基本計画」等の紹介では、本県がこれまでに行った取組と成果を紹介するとともに、令和9年度以降に取り組む新たな事業内容など本県が取り組む施策に関する情報を発信することができた。 ・パネルディスカッションでは、幅広い分野のパネリストによる討論を行うことで、参加者へ県の施策への理解促進を図ることができた。 ・展示会では、市民事業支援補助団体の取組紹介や物販ブースを設け、多様な団体の活動内容を県民に紹介することができた。また、市町村の取組紹介ブースや間伐材製品の展示、水源涵養実験動画の放映など新たな展示を行い、会場の雰囲気活性化させた。 <p>5 主催 神奈川県、水源環境保全・再生かながわ県民会議 ・県民会議委員の計 13 名が会場運営を担当した。（うち2名は登壇者）</p> |
| 特記事項 | なし |

参考（当日の様子）



主催者あいさつ（橋本副知事）



基調講演（野口 健氏）



計画説明（井出課長）



パネルディスカッション



講演会場



会場入口



展示会場



しずくちゃんによるPR

第60回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム アンケート集計

令和8年2月7日(土)
場所:新都市ホール

【参加者数】

対面：152名 オンライン：33名

【アンケート集計結果】

◎回答数 110名

【回答者情報】

◎居住地

| | | |
|---|------|-----|
| 1 | 県内 | 98 |
| 2 | 県外 | 8 |
| 3 | 回答なし | 4 |
| 計 | | 110 |

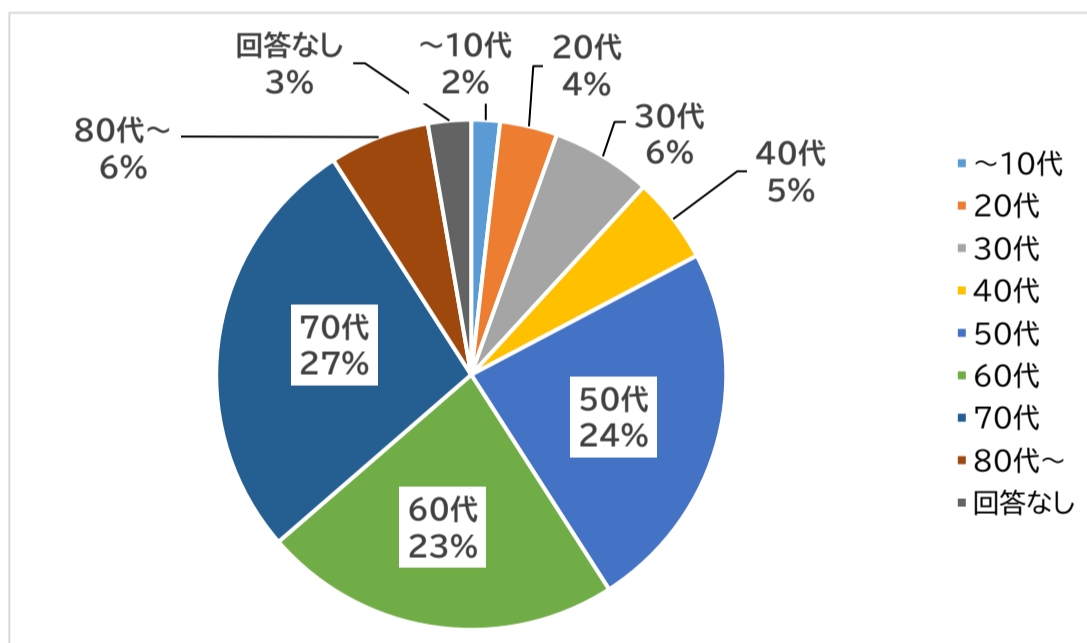
(内訳)

| | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 県内： | 横浜市 38名 | 川崎市 10名 | 相模原市 9名 | 伊勢原市 6名 |
| | 小田原市 6名 | 藤沢市 4名 | 秦野市 4名 | 横須賀市 3名 |
| | 平塚市 3名 | 茅ヶ崎市 3名 | 南足柄市 3名 | 厚木市 2名 |
| | 座間市 2名 | 座間市 2名 | 三浦市 1名 | 大和市 1名 |
| | 綾瀬市 1名 | 大磯町 1名 | | |

県外： 東京都 7名 埼玉県 1名

◎年齢

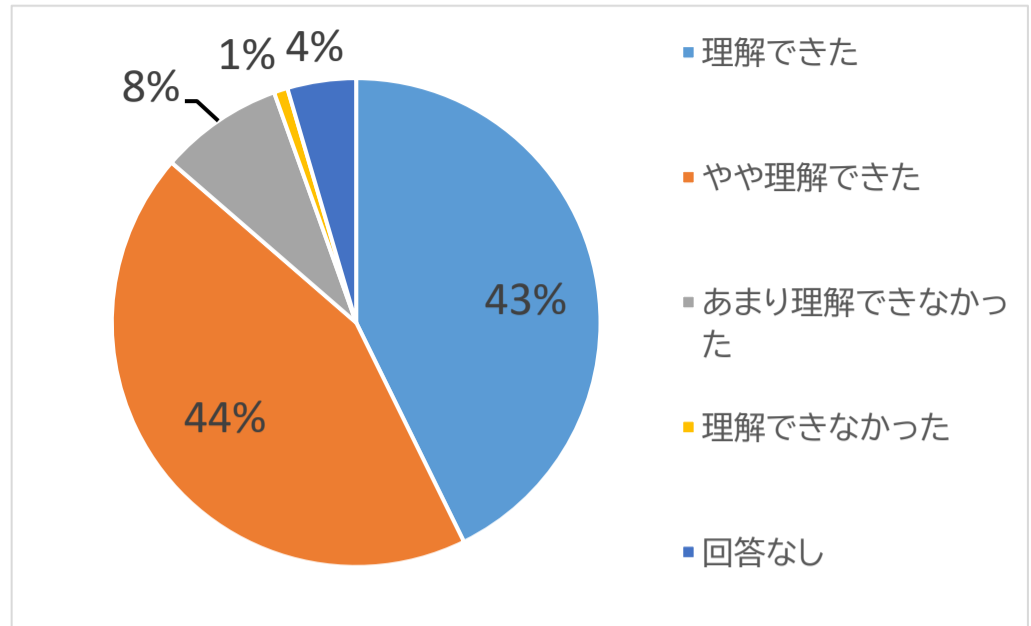
| | | |
|---|------|-----|
| 1 | ～10代 | 2 |
| 2 | 20代 | 4 |
| 3 | 30代 | 7 |
| 4 | 40代 | 6 |
| 5 | 50代 | 26 |
| 6 | 60代 | 25 |
| 7 | 70代 | 30 |
| 8 | 80代～ | 7 |
| 9 | 回答なし | 3 |
| 計 | | 110 |



Q1 今回の県民フォーラムについて

(1) 「かながわ水源環境保全・再生基本計画」等の紹介は、いかがでしたか。

| | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 理解できた | 47 |
| 2 | やや理解できた | 48 |
| 3 | あまり理解できなかった | 9 |
| 4 | 理解できなかった | 1 |
| 5 | 回答なし | 5 |
| 計 | | 110 |



【1の理由】

- ・ 概要をつかめた。
- ・ 資料が見やすかったです。

【2の理由】

- ・ パワーポイントを配布いただいたので、復習します。
- ・ 時間が足りなかった。もっと知りたかった。早口だった。
- ・ 時間とボリュームが合っていない。パワーポイントは少なくてよい。概略（見本の考え方）の理解を促す資料でよいのでは。パワーポイントがあっちこっちいくのは分かりづらい。
- ・ 説明が早かったので、後で自宅でじっくり資料読みます。
- ・ 全部ではなく特にアピールしたい項目に絞った方がわかりやすい、伝わるのでは？
- ・ 矢継早だったので資料を読み込んで理解が追いつく箇所もあった
- ・ 水を守る対策をこれまで行って来たこと

【3の理由】

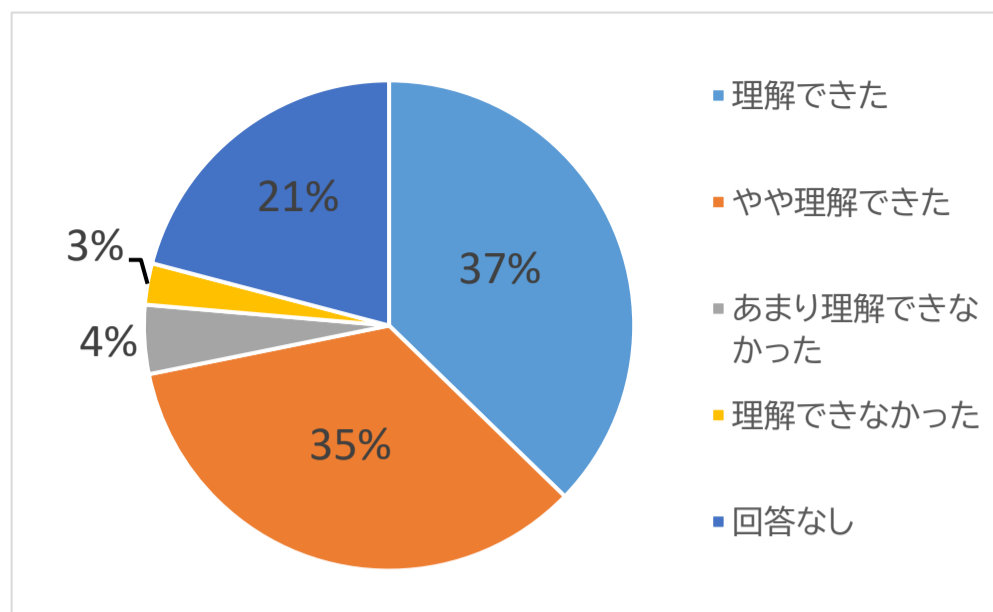
- ・ むずかしかったから、でも理解出来た物もあったから
- ・ 説明はだいぶ力不足でしたので、帰宅後改めて読みます。
- ・ 計画や取り組みを知らなすぎたので、頭に入っていかなかった
- ・ 量が多過ぎて！帰ってからゆっくり読みたい
- ・ 非常にたくさんのことに取り組みられてきて、これからも必要であるということは理解した。
- ・ むずかしすぎた。

【4の理由】

- ・ 各事業の説明が短く、具体的にどのような取り組みを実施していくかが分からなかった。

(2) パネルディスカッションの内容は、いかがでしたか。

| | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 理解できた | 41 |
| 2 | やや理解できた | 38 |
| 3 | あまり理解できなかった | 5 |
| 4 | 理解できなかった | 3 |
| 5 | 回答なし | 23 |
| | 計 | 110 |



【1の理由】

- それぞれのパネリストの説明がわかりやすかった。
- 各専門の報告という性格であり、理解出来た。あらかじめ問題を洗い出しておいて共通の点をみなさんが話（討論）したらよかった。
- しかし、環境の変化はこれ迄の経験だけでは対応が難しい。第Ⅱ期に向けての課題を提言して欲しかった。
- さまざまな立場の人からの話が聞けて良かったです。
- 具体的な取組みが興味深かった。
- 秦野市の取組の報告がわかりやすかった

【2の理由】

- パネリスト間の議論をもっと聞きたかった。
- わかりやすかった。時間が短かったですね。
- 予定があり途中退出
- テーマの「次のステージへ」が少し弱かったように思います。
- 取組みの数が多すぎて全部を理解するのが困難。

【3の理由】

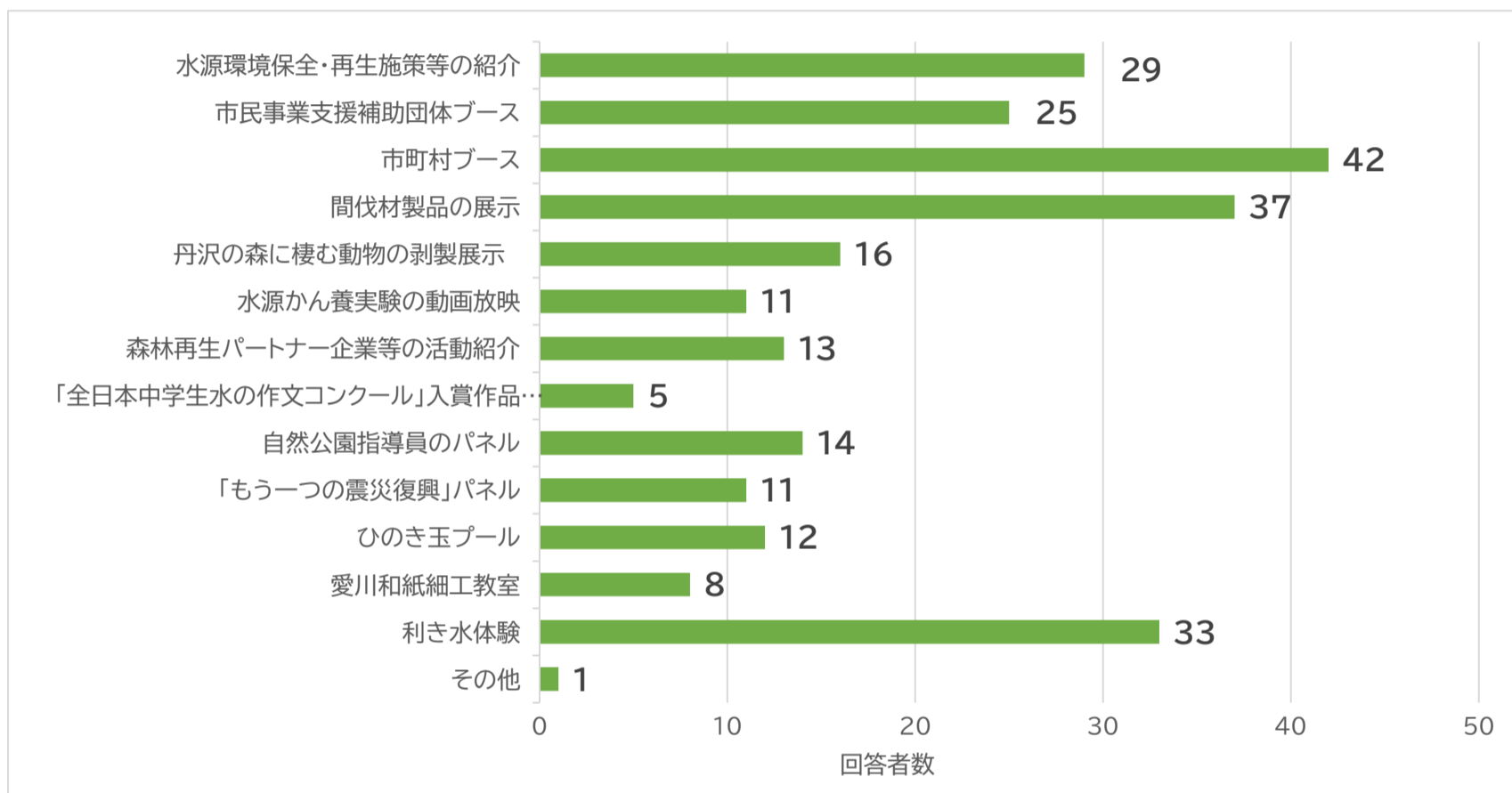
- むずかしかったけど理解出来たこともあったから
- 時間が短い。パネラーの説明をもっと聞きたかった。
- 計画や取組みを知らなすぎたので、頭に入っていかなかった
テーマが大きくて身近な事例など折り込んだら分かりやすいのではないか。県と政令都市との協同の活動などはどうなのか知りたかった

【4の理由】

- コーディネータの土屋先生から十分な時間が無いと言われており、時間が無いことが明らかであった。
- 参加できなかった
- 雪のため会場参加できず、拝聴できなかった。（上記に選択肢がなく、やむなく「理解できなかった」を選択）

(3) 展示会場において、良かった展示に○をつけてください。(複数回答可)

| | | |
|----|--------------------------|----|
| 1 | 水源環境保全・再生施策等の紹介 | 29 |
| 2 | 市民事業支援補助団体ブース | 25 |
| 3 | 市町村ブース | 42 |
| 4 | 間伐材製品の展示 | 37 |
| 5 | 丹沢の森に棲む動物の剥製展示 | 16 |
| 6 | 水源かん養実験の動画放映 | 11 |
| 7 | 森林再生パートナー企業等の活動紹介 | 13 |
| 8 | 「全日本中学生水の作文コンクール」入賞作品の展示 | 5 |
| 9 | 自然公園指導員のパネル | 14 |
| 10 | 「もう一つの震災復興」パネル | 11 |
| 11 | ひのき玉プール | 12 |
| 12 | 愛川和紙細工教室 | 8 |
| 13 | 利き水体験 | 33 |
| 14 | その他 | 1 |

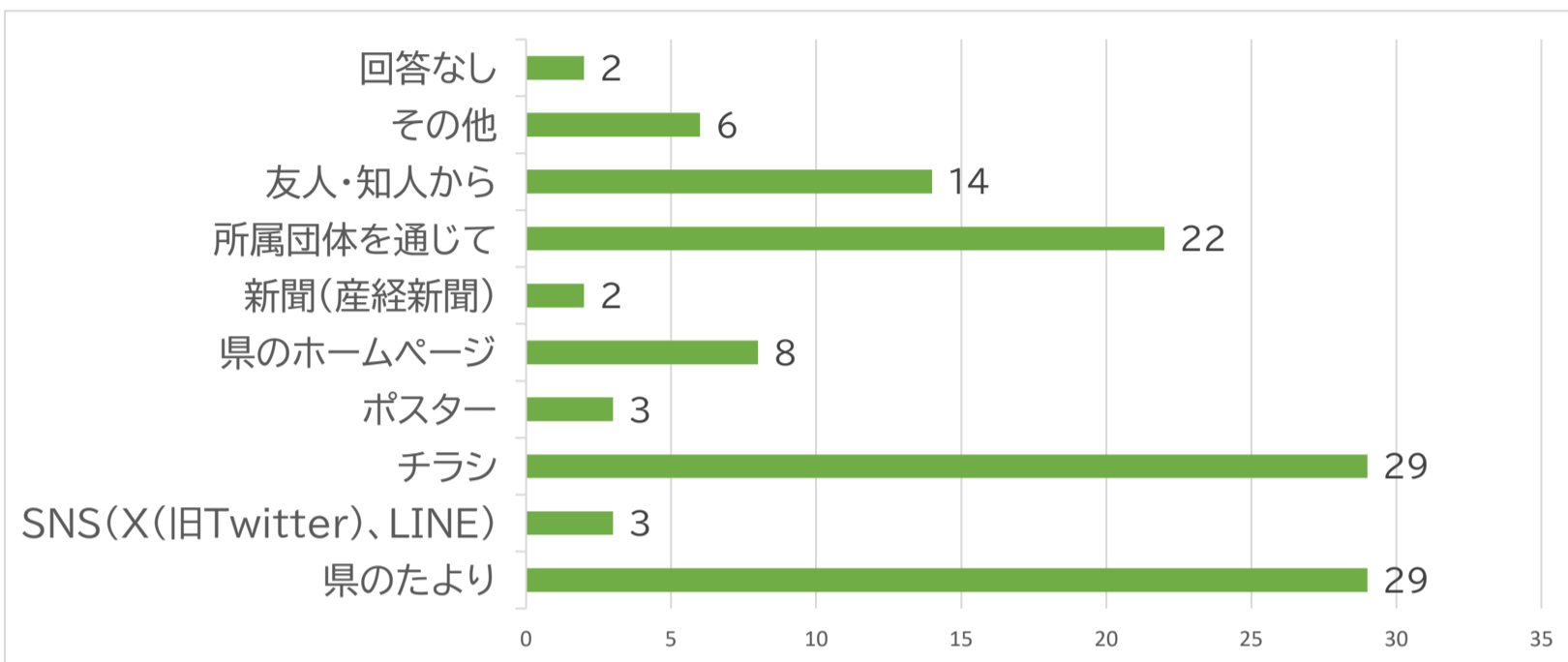


【理由】

- ・ (利き水) 分かりやすかったし、クイズみたいで楽しめたから。水にちがいがあることによってきょうみをもてたから、良い水のあじやちがいがあることがわかったから。楽しかったから。
- ・ (間伐材製品) 間伐材を美しい製品として生かす事業はとても素晴らしいと思います。是非サポートしたいです。
- ・ (利き水) 体験物は面白いため
- ・ (利き水) 名水の味はやはり「甘み」が感じられる。大事にしないといけないと改めて感じた
- ・ (利き水) 水道水の味が1回でわかりました。天然水全部飲み比べたいです。
- ・ (間伐材製品) ひのき玉1つ欲しいです。
- ・ (利き水) 手が加えていない名水が断トツでおいしく、水源の大切さを思いました。
- ・ (間伐材製品) 間伐材のリユースに興味があったため
- ・ このような展示があるのなら見る時間をもっと持っていただきたい!
- ・ (利き水) 市販水はおいしく思った。
- ・ 多くの展示がありか活動が活発に行われていることが実感できた。
- ・ (利き水) 体験はとてもよかった。
- ・ (剥製) 人間だけが、居心地よく暮らせる環境ではないことを実感させられるから。動植物も共存できる消費活動が必須という事を理解したから。
- ・ (利き水) 体験ができると分かりやすい
- ・ (市町村、利き水) 小田原市はステキなえんぴつをいただいた。利き水は味の違いが良くわかった。秦野の水はすぐ判りました。

Q2 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 1 | 県のたより | 29 |
| 2 | SNS(X(旧Twitter)、LINE) | 3 |
| 3 | チラシ | 29 |
| 4 | ポスター | 3 |
| 5 | 県のホームページ | 8 |
| 6 | 新聞(産経新聞) | 2 |
| 7 | 所属団体を通じて | 22 |
| 8 | 友人・知人から | 14 |
| 9 | その他 | 6 |
| 10 | 回答なし | 2 |



【チラシの受取場所】

- 市役所（3人）
- 区役所
- 県庁
- 四季の森公園
- 図書館（2人）
- 新百合駅の掲示板チラシ
- 地区センターで
- 行政センター
- 県民センター
- 市民活動サポートセンター
- 秦野市の市民会議で
- 中原市民会館
- 川崎市情報プラザ
- イオンスタイル（4人）
- 郵送（3人）
- 3ヶ所からいただきました。

【団体名】

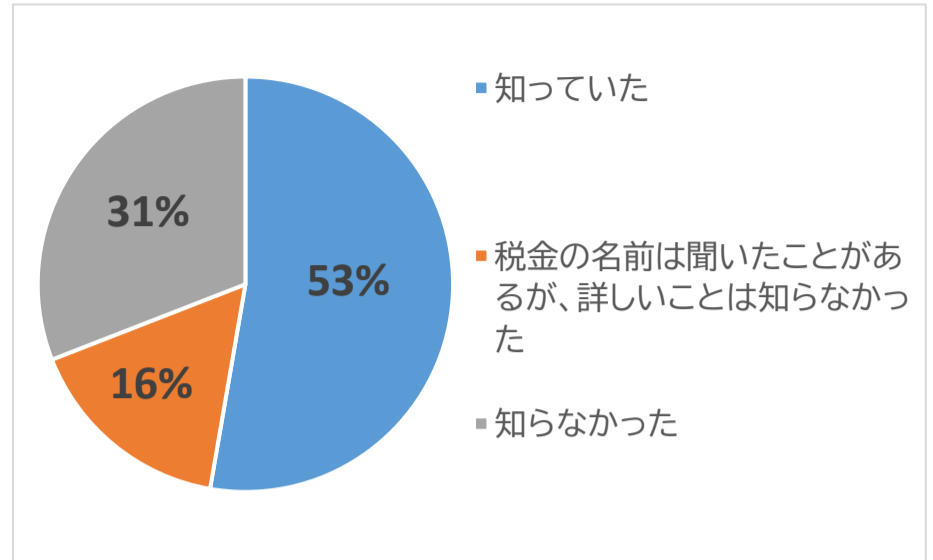
- 東海大学地域環境ネットワーク
- (株) つくい森林設計HALU
- かながわ森林インストラクターの会（4人）
- 日本の竹ファンクラブ
- 桂川、相模川流域協議会（3人）
- 森林組合
- 町田グlaus山の会
- NPOファームパーク湘南（3人）
- 秦野名水名人講メール
- 四季の森公園里山研究会

【その他】

- 業務関係
- 夫から

Q3 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税（水源環境保全税：納税者 一人当たり年額約880円※令和6年度）を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

| | | |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 知っていた | 58 |
| 2 | 税金の名前は聞いたことがあるが、詳しいことは知らなかった | 18 |
| 3 | 知らなかった | 34 |
| 計 | | 110 |

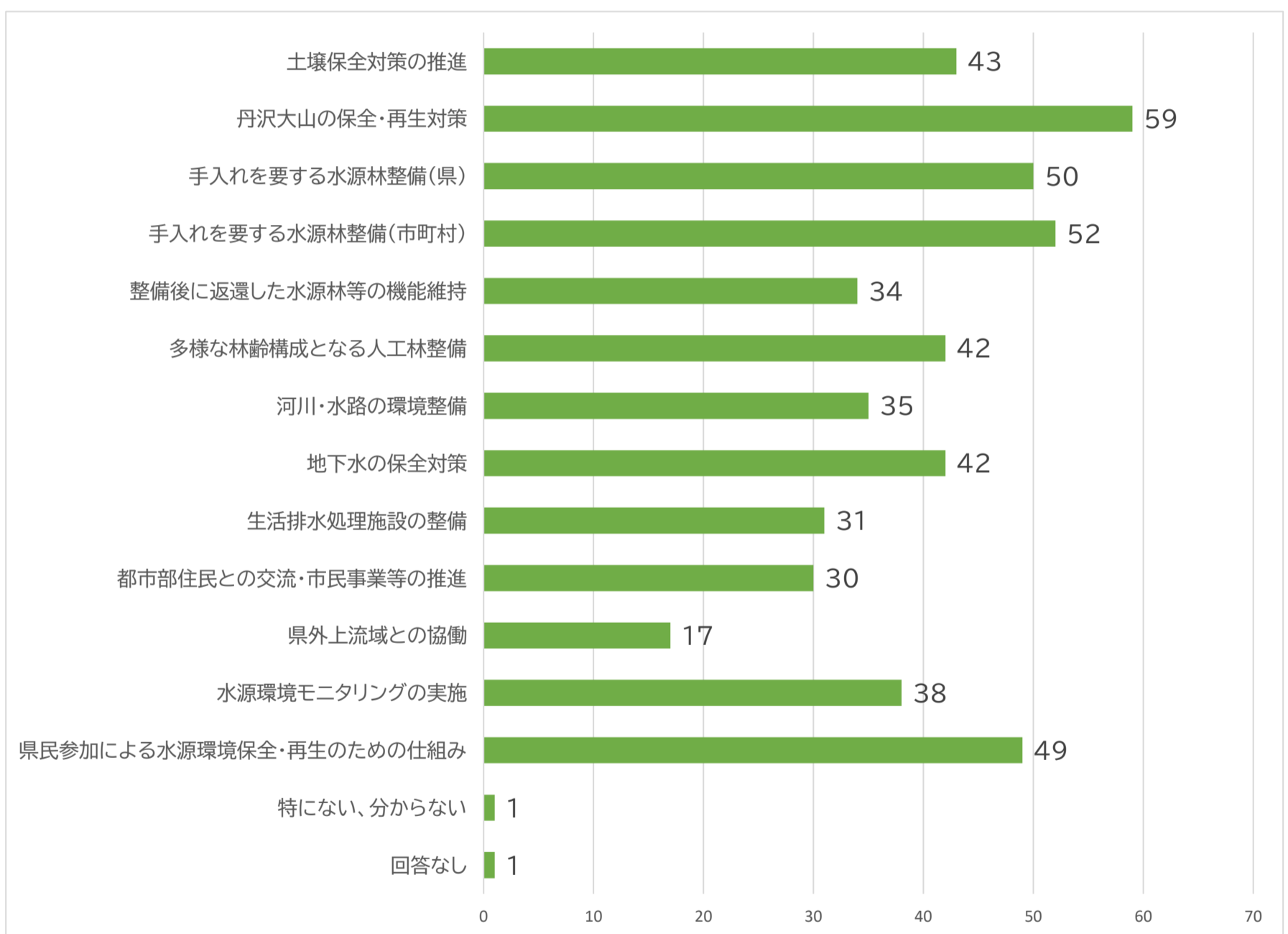


【知ったきっかけ】

- 水源税での森林整備事業に従事しているため。
- 林系従事者として水源林整備を行っている
- フォーラム参加
- 県のたより（5人）
- 丹沢だよりなどで、内容を知っていた。
- 県民会議公募委員として活動（2人）
- 参加する環境団体を通じて
- 知人から聞いた。（3人）
- 県のHP（2人）
- 県のイベント
- 2025の県民フォーラム
- 市のレポートで
- 仕事上
- 県税の資料
- 制度がスタートしたときから
- 課税開始の説明
- チラシ
- 河川のモニタリング調査
- 流域協議会
- 神奈川県養成のインストラクターの研修や県のHPから情報を得ています。
- 神奈川県森林インストラクター養成講座

Q4 水源地域の環境の保全・再生に関わる取組について、関心のあるものは何ですか。（複数回答可）

| | | |
|----|-------------------------|----|
| 1 | 土壌保全対策の推進 | 43 |
| 2 | 丹沢大山の保全・再生対策 | 59 |
| 3 | 手入れを要する水源林整備(県) | 50 |
| 4 | 手入れを要する水源林整備(市町村) | 52 |
| 5 | 整備後に返還した水源林等の機能維持 | 34 |
| 6 | 多様な林齢構成となる人工林整備 | 42 |
| 7 | 河川・水路の環境整備 | 35 |
| 8 | 地下水の保全対策 | 42 |
| 9 | 生活排水処理施設の整備 | 31 |
| 10 | 都市部住民との交流・市民事業等の推進 | 30 |
| 11 | 県外上流域との協働 | 17 |
| 12 | 水源環境モニタリングの実施 | 38 |
| 13 | 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み | 49 |
| 14 | 特になし、分からない | 1 |
| 15 | 回答なし | 1 |



【その他の意見】

- シカ対策の状況は。水源とダムとの状況、量の管理は。地下水汚染の公表を定期的に
- 野口さんのお話にもあったが規制が保全活動と両論で大事だと思うので、法整備。
- 竹林対策

Q5 水源環境保全・再生の取組に関してご意見・ご感想などをお聞かせください。

○森関係

| | |
|---|--|
| 1 | 水源の森林づくりに貢献出来る様、精一杯取り組んで参ります。 実際に現場にて作業する方々の政策や山づくりに関する知識や理解の深まりが大切となると考えます。 そういった点での研修等もあると良いかと思えます。 |
| 2 | 丹沢エリアを歩くときに、シカ問題は身近に感じる場合があります。 最近では熊問題に注目がいっていますが、これもシカも気候変動と人間生活の変容が一因となっているの でしょう。少子化問題、山村過疎問題などもからめて考えていかなければならないのでしょうか。横浜都 市部に住んでいる人間にできることはなにか？ |
| 3 | ニホンジカ管理捕獲のために公務員ハンターの育成。またはガバメントハンターへの手当・待遇の充実を 願います。 間伐材の利用促進。放置されてる植生保護柵、シカ柵、野兎柵への撤去。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・保全・再生等の取組はすばらしいものですが現実問題現場作業する人員が圧倒的に足りていない ・森林の整備は机上では何もわからない ・現場で働く人を大事にして欲しい ・役所の人現場のことを知らなすぎる |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・齊藤さんの「私たちの事業が環境破壊につながる恐れもある。監視が必要」という言葉にとっても実際のだ と思いました。 ・神奈川県は野生動物との共存に全国でも唯一、取り組んでいる自治体ですが、「増えすぎたシカ」はあく まで目視(憶測)にもとづいていると聞き及んでおります。殺す前に不要な人工林を減らすべきではない のでしょうか。政策としても取り組まれた人工林だが、経済的には循環されていない側面は否めない。 |

○水関係

| | |
|---|---|
| 1 | PFAS問題への対応が関心あります。 水道水についても、地下水についても、検査が強化されますが、基準値を超える結果が出た時の調査、 原因究明の徹底。 関係している企業、施設(基地等)への対策義務。地下水除染対応について明確に示して欲しいと思 います。 |
| 2 | 相模川上流の山梨県との連携がどうなっているのか知りたい。 相模湖のアオコが毎年「ひどすぎる」 |

○水源環境保全税・取組について

| | |
|---|--|
| 1 | 今まで全然意識することなく生活させて貰ってきました。 水資源、森林資源の保全の重要性を学びました。 |
| 2 | これまでの水源環境保全・再生とこれからの水源環境の今後の展望について真摯に取り組みたい |
| 3 | フォーラムに参加して、初めて神奈川の水源が危機的状況であることを知り、20年かけて改善されたこと を知りました。県民として大切な共有財産がこれからも守られるよう納税していきたいです。 |
| 4 | 今後も事業の継続をお願いします。 |
| 5 | 生活に必要な水を安定的に供給していただくため大切な取組みであると思えます。 今後もしっかり取組みを進めていただきたい またそのための税の負担は必要なことだと思います。 |
| 6 | 将来の水のための計画の立案、実施、見直しを期待しています。 |
| 7 | 新たるかながわ水源環境保全・再生基本計画が実行ベースで着実に進んでいくことをのぞみます。 |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体だけでは難しい部分があるとしても国を動かしてPFASはじめ、農業、肥料、洗剤など、まず 森林の浄化作用に依存するのでなく、汚染の源を減らすことを国、企業に働きかけたい。水源環境保全 税を集めるのであれば、この元を減じる策を必ずセットで行って頂きたい。そうでなければ水源環境活動 が無駄になる。 |

| | |
|----|---|
| 9 | <p>荒廃農地、耕作放棄地が県内でも拡大しています。</p> <p>今後の20年を考えると水源環境保の観点から今後の20年は、農地の問題へも拡大していくべきと思います。</p> |
| 10 | <p>「水源環境保全・再生の取組」について、認識を新たにしました。とても勉強になりました。ありがとうございました。</p> |
| 11 | <p>環境問題の対策は全国的、世界的な課題となっているという意識はありましたが、神奈川県でこのようなしっかりとした取組がされていることを初めて知りました。</p> <p>20年という長い年数をかけた成果が表れていることもわかり、おどろきました。</p> <p>県民としてそのための税金も支払っていますが、もっと払ってもよいと思いました。</p> <p>それに見合う成果をしっかり出しておられると思います。そしてこれからも期待できると考えます。</p> <p>人材育成も今後の課題としてあると思いますが、県内の小中学校などのカリキュラムに入れるなどできないでしょうか。</p> |
| 12 | <p>今後も継続して下さい。</p> |
| 13 | <p>初めてフォーラムに参加しました。</p> <p>森林林業は長い時間のかかる取り組みだと思います。</p> <p>今後の水源林政策に期待しています。</p> |
| 14 | <p>吉村氏が提言した災害対策、気候変動対策、生物多様性対策といった新たな社会的課題への対応は、今後一層重要になると感じる。とりわけ、公益的機能の高い取組の必要性は、超過課税を財源として活用する以上、重視すべき観点として賛同できる。</p> <p>加えて、土屋氏は里山の問題を強調したが、里山課題の多くは過疎化等に起因する社会課題が顕在化したものである。水源環境保全のために事業を実施するのであれば、公益性と財源との関係を明確にする必要がある。</p> <p>また、モニタリング結果を施策へフィードバックし、改善につなげるべきとの主張にも賛同する。新たな解析手法の提示に加え、社会的課題の変化に応じてモニタリング項目を見直し、必要に応じて拡充できる体制の整備が求められる。</p> <p>さらに、県民が何を必要としているのか(重点化すべき取組)について、必要性そのものを把握し、優先順位に反映する仕組みも必要である。地域・世代の偏りをできるだけ排したアンケート調査等により、施策の必要性や期待効果を確認したうえで事業を構成すべきだと考える。</p> <p>吉村氏が繰り返し指摘された「都市部の意見も必要」という点は、受益と負担を踏まえた合意形成の観点から重要である。水源税を用いて人工林の皆伐を推進するのであれば、この観点から丁寧な説明が尽くされるべきであり、単なる林業補助と受け取られる内容であれば賛同し難い。</p> <p>全体を通じて、計画全体に対する吉村氏の分析は適切であり、学識者の視点は極めて貴重であると感じた。県民会議には、このようなチェック(点検・評価)機能の発揮を期待する。県には、こうした意見をより積極的に取り入れ、県民会議の仕組みを実効的に活用していただきたい。</p> <p>現状、フォーラムで強調された都市部と水源地域の価値観等のすり合わせは不十分である。県には、広域行政機関として調整役としての責務を果たしつつ、モニタリング等で得られた知見を点検・見直しに的確に反映し、施策の質の向上を図っていただきたい。</p> |

○県民参加

| | |
|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市住民との交流は重要だと思いました。 ・色々勉強になりました。 ・こういうフォーラムはもっとやるのが良いと思います。 |
| 2 | <p>都市部の水道水を地方の水源が支えているという状況を都市部の県民にもっとアピールすべきと思いました。</p> |
| 3 | <p>環境保全、再生、年数がかかり、ずっと取りくんでいる方々、お疲れ様です。成果が必ずあると信じて活動にとりくんで下さい。身近な事からやろうと思います。</p> <p>ゴミ、森林破壊、山火事なども人災は(自然破壊は仕方ないが)自分たちでできる事を推進していければと思う。</p> <p>未来を担う子供達との活動は有意義な物だと思います。</p> |
| 4 | <p>水源地域と都市部の連系が進みよりよい環境になってゆく方法を考え進めてもらいたい。</p> |
| 5 | <p>環境保全の重要性は理解できる。今後は地域活性化の取組みも合せ、皆がたのしみながら参加出来る保全活動を進めてほしい。</p> |
| 6 | <p>やっていること、目指すものはわかったが、一般住民市民が日頃何をすれば良いのか？具体的な行動が知りたかった。</p> |

○講演関係

| | |
|----|---|
| 1 | 野口さんがしんけんな話ばかりじゃなくて、おもしろいことも話していたからよかったです。 |
| 2 | 野口さんのお話にあったように、木、森、水、海など特に日本ではすべての自然物に神が宿る(八百万の神)と言われます。 以前ある方から聞いたお話で山にも神は宿っていて「意識」がある。 山の見た目の形がくずれると、山自らの意識(作用)で、火山などで形を整える、と聞いたことがあります。もし以前のように富士山がゴミの山であり続けた、富士山自身が自ら噴火して、そのゴミなどをきれいに燃やしつくしただろうと思いました。 しかし、野口健さんはじめ野口さんが呼びかけた多くの仲間、方々のおかげで、富士山がきれいになった(なってきた)ので、富士山は、今まで(今日まで)噴火をとどまってくれたのではないかと思います。 だから野口さん、そしてお仲間の方々に心から感謝をします。 しかも、今日のお話にもあったように、いつ噴火するのかわかりません。だからこそ、日頃から、一人ひとりが富士山だけでなく、自然(水)を大切にして、感謝をしたいです。 ありがとうございます。 |
| 3 | 小学生、中学生と参加しました。 野口さんの話は子供達は何とか理解できていたようだがあとはむずかしかったようです。 母としましても、野口さんの話が入ってきやすかった。 |
| 4 | ・林業が企業として成り立っていることを知った。 ・地域の水資源の為に30年間取りくんでいることをリスペクトした。 ・企業の社会的責任とかCSRとか言われて久しいと思うのに、日本全体の本質に金の猛者という印象が強い。 ・シカの管理捕獲の具体的手法を知りたかった。 |
| 5 | シカ問題は知りませんでした。 40年くらい前の水無川はとても汚なかったが今はキレイです。様々な努力があったんだと感じました。 野口健さんのお話しもとても楽しく興味深く聞き入りました。 |
| 6 | パネラーの皆様の紹介が、ポイントを絞った説明で、とても良かったです。 新しい取り組み、「次のステージ」にも期待しています。 |
| 7 | 次のステージとこれまでとどんな違いがあるか明確に説明が不足していたと思います。 |
| 8 | 第2ステージの将来像や20年後の姿が明確でないと感じました。 特に水関係事業の位置づけがよくわからなかったです。 |
| 9 | パネルディスカッションと伺っていたが、まったく各登壇者が順番に話しているだけでしたが。 |
| 10 | ネットで参加したが音声不明瞭の為特に基調講演の内容が残念ながら理解されてなかった。 |

○その他

| | |
|---|--|
| 1 | 環境の変化について今後の進展を見守っていきたい。 一般市民(県民)が現状を理解できる方法で伝えてほしい。 いろいろなアンケートなども電子化されており高齢者には伝わりにくい。又若者や子供達にはもっと関心を持っていただけよう、努力してほしい。 |
| 2 | 都市部住民との交流、市民事業等の推進→都市部市町村役場が取組を理解して行動して欲しい 20年延長されるとうかがいホッとしました。 公募委員以降、一般の方にも水源環境保全再生の話や税について話をしています。以前より興味を持って下さる人が増えてる感じがします。 昨年 千葉の青少年団体が神奈川にて環境教育をしました。千葉県庁担当部署にお邪魔しましたが神奈川のような資料(毎年作成している資料)はありませんでした。神奈川はめぐまれていると思います。 |

| | |
|----|---|
| 3 | しずくちゃん初めて実物に会えました、カワイイ。美味しい水が飲みたい。今回の様なセミナーをどんどん実施して活動をアピールしてほしい。知らないことばかり。見学会等有れば参加したい。色々なイベント会場に出展してほしい。体験が楽しい。 |
| 4 | 本日は参加させていただきありがとうございました。関心を心掛けながら、日々生活していきたいと思えます。ありがとうございます。 |
| 5 | 想定していたが、やはり長時間のプログラムだったので集中力が続かなかった。ごめんなさい。 |
| 6 | 初まる前にスクリーンで上映していた番組のナレーションの中で「産学官」を「サンガクカン」と発音していましたがこれでは「産学間」のように聞こえます。「サン・ガク・カン」と発音してください。 |
| 7 | 人の生活には水を含む山の資源や森の木々とは切っては切れないものがあると常々考えているので、これからこういう考える機会があるとうれしい。 |
| 8 | ありがとうございました。 |
| 9 | 次回も参加したい。今後の20年の取組に期待したい。 |
| 10 | モニタリングと検証が大事であることがよくわかりました。 |
| 11 | 水源環境の保全と再生に力を入れているのがわかる。水源環境保全課から水源環境保全・再生課に変更してはどうだろうか。自然環境保全・再生センターに変更してはどうだろうか |
| 12 | 森と水の関係が良く説明され、県が中心となって、どのような取り組みがされているのかよくわかった。絶滅危惧の植物について知らなかった。そういう情報を市町村では聞けない。自然公園指導員というボランティアさんがいるとか初めて知った。県民に知らせるべきだと感じた。 |
| 13 | よかったです |
| 14 | 森林インストラクターの方々の協力に感謝しています。 |
| 15 | 命に関わることなので、たくさんの人が知って考えるべきことだと改めて思った。 |

○質問→後日HPで回答

| | |
|---|---|
| 1 | 県の取組みと市町村行政での取り組みに一体感があるか、齟齬がないのか聞きたい。予算措置(補助金等)の裏付けがあるのでしょうか？ |
| 2 | シカ、シカと言われていたが、イノシシやサルの鳥獣の問題はどうか疑問に思った。今まさに枯水で東京、北関東のダムの貯水率が問題視され、メディアでも報道されていますが、神奈川県はあまり言われませんが、実際はどうなのでしょう？ |
| 3 | ・丹沢の森づくりと相模湾の海づくりを関連づけて具体的な取組みはありますか？ ・森づくり活動に一般人が気軽に参加できるシステムはありますか？(民間活動の活用など) |
| 4 | 里山問題にリンクするケースの多い竹林の位置付け、とらえ方を知りたい。また今後、対策や方針を知りたい。 |
| 5 | 新たな第 I 期実行5か年計画の中でスライドP41県外上流域との協働について意見します。相模川の水が神奈川県民の約60%の水源になっているとお聞きしていますが、相模川の源流は山梨県として水源環境と山梨県東部との関わりは重要だと考えます。 当該事業にける予算(1.0億円)がほかの事業に比べて低いように感じるがなぜでしょうか。水源環境は取水する流域を基本とした取り組みが重要と考えます。県境を越えた事業は難しいと思いますが、山梨県、静岡県との連携をしっかりとって頂きたい。 計画期間中に相模川水系寒川浄水場の廃止等が現実化する。 |
| 6 | ・来年度で終わる事業はありますか。あるとしたらその理由は ・PFAS対応はモニタリングと国に任せるだけではなく県として踏み込んだ対応は考えていますか。 |

| | |
|----|--|
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間でも県でも、さまざまな取組みを行っていることが分かって良かったです。 ・生活排水はちゃんと処理してほしいと思いました。 <p>(質問)・処理率が100%にならないのには何か理由があるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の汚染の問題について、持続的に根本から汚染をへらすにはどうすれば良いのですか。(人工透析的なものは一時的な対策だと思うので) |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用側である川崎、横浜、横須賀等と集水エリアである山北、津久井、秦野等の税負担が同じなのは、腑に落ちない。 ・鹿対策: ネット等による囲いをすると、その外側の食害が酷くなるだけでは? 生息数を減らす必要があるのでは? 生息数増の理由は判っているのでしょうか? |
| 9 | <p>水源周辺地の方々と、下流域の人々との交流イベント機会を増やし(広報で目する機会は、年に1回有る程度、広報不足では?)環境保全ボランティア活動に繋げては如何でしょうか?</p> |
| 10 | <p>会場参加で申込みましたが、あいにく雪になり、公共交通機関への影響の懸念から、急遽会場参加を断念いたしました。</p> <p>申込受付メールに記載のURLから、PDF版の当日資料を読みました。</p> <p>資料は大変わかりやすく、これまでの20年の蓄積をこれからの20年へ繋げていくこと、これまで同様に5年ごとの計画と見直しが見直しがなされること、納税者である県民参加の仕組みが維持されることなど、嬉しく拝読いたしました。</p> <p>会場参加ができていれば、資料に加えて更に詳しくお話を伺え、基調講演とパネルディスカッションを通して、多面的な学びと考察が得られたのではないかと悔やまれます。</p> <p>そこで提案ですが、次回開催では、予測不能な天候への配慮の面から、会場参加の申込人に対してもオンラインのURLをご送付願えませんでしょうか。</p> <p>よろしく願い致します。</p> |